

大阪市立大学ボート史

=短艇競漕の発祥から明治・大正・昭和初期まで=
+ “市大（余談集）” + “紅槳”

団塊号ご一同様向けとして！



大阪市立大学漕艇部S43年卒・
電気工学科S44年卒 森脇郁朗

赤を基調にしたのには理由があります！ 宜しくご推察を！

—短艇競漕の発祥から明治・大正・昭和初期まで—

＝目次＝

<http://kojyokai.org/大阪市立大学ボート史/>

まえがき

第1部. ボート競技の発祥

- (1) バッテラ艇の購入
- (2) 短艇競漕の始まり
- (3) 創始者は誰か
- (4) 当時のクラブ活動

第2部. 水上運動会(現ボート祭)の歴史

- (1) 開催の記録
- (2) 企業・学校など外部からの参加
- (3) ボート競技全盛の時代
- (4) ボート熱はなぜ冷めていったのか
- (5) 戦後第1回のボート祭

第3部. ボート部の歴史—明治・大正から昭和初期まで—

- (1) ボート部の創設
- (2) 対外試合の記録
- (3) 活躍を伝える当時の記事から
- (4) 新艇建造の記録
- (5) 学内に五つのボートクラブが存在した時代
- (6) 固定席艇からスライディング式シェル艇へ

参考資料

市大漕艇部の話ではありますが、他大学、企業名も多々あります、ボート関連各位にとっても興味ある内容が散見されると存じます。是非、我慢の上最後まで目を通して頂けたら幸いです。

出典資料について

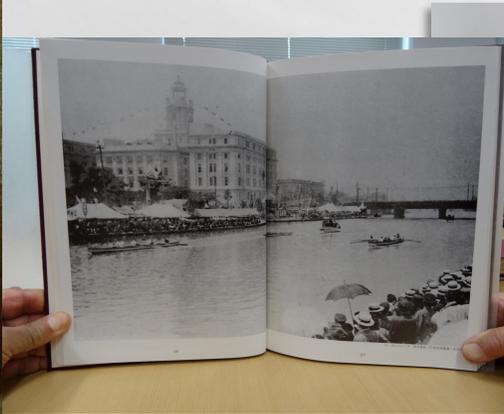
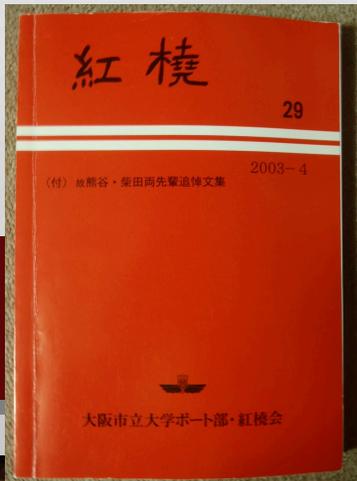
主史料 : <http://kojyokai.org/大阪市立大学ボート史/>
 補助資料 : <http://kojyokai.org/大阪市立大学ボート部人国誌/>

- 原稿作成者: S29卒 河崎清氏「明治・大正・昭和初期:ボート史」、S39年卒 木村勤氏「ボート部人国誌」
- 発端: 日本ボート協会より、日本最古の漕艇・端艇部の調査で、物的証拠の提出依頼を受け、資料探しを年配OBに依頼、河崎氏が主導実施！(森脇:縁あり、2014年頭、写真等資料整理、デジタル化のお手伝いに参加)
- 部内の熊谷文庫を始めとし、市立大学書庫、国会図書館、他大学訪問等々を回りボート・漕艇・端艇とその行事・競技に関する資料収集を実施した(その殆どが河崎氏の尽力に依ります)
- せっかく集めた資料の散逸は忍び難いとして、河崎氏が、ボート史として纏めて寄稿頂き、それを元に「紅槳会」にて活用。
- WEBへのまとめと資料アップは、現役グループによる！(森脇:一応WEB立ち上げにも尽力しました～)

記事作成
 当時、84歳
 (参考迄に森脇:
 70歳)



S 2 6	岩田 文一郎
	岸本 一夫
S 2 8	眞鍋 久勝
	岡田 幸雄
S 2 9	河崎 清
	小浦 幸男
S 3 2	岩岡 勤
	市口 裕一
	玉置 和夫
	小野 明德
S 3 3	今藤 亮一
	稲井田 祥洋
	片山 武
	大和 晋
	令和2年現在





“筆者近況”
市大ボート祭にて！
＝教育委員会の面々と、コックスで参加＝

府大と市大との合併を控え、此の折は、府大・市大の学長レースの間に入り、三杯レースで彼等に華を持たせる役割を演じてられました！

大阪市立大学の歴史概要と漕艇について

大阪市立大学は日本最大規模の公立大学で、大阪市内に位置する唯一の総合大学です。

大阪市立大学の源流は、1880年に、「近代大阪経済の父」と称される五代友厚をはじめ当時の大阪財界有力者によって創設された「大阪商業講習所」です。

創設当時の「体育部」：水上部 陸上部 延球部 柔道部 註 水上部=ボート部 延球=庭球=テニス

1928年には、単科大学ながら学部・予科・高商部の三位一体構成を特色とする市立「大阪商科大学」(三商大の一角)が誕生しました。このOB会が「有恒会」として存続し、体育会系三商大戦が各種開始されています。

学校制度の大改革により、1949年に大阪商科大学(文系)、大阪市立都島工業専門学校(理系)、大阪市立女子専門学校(家政学部)が統合され、新制総合大学である「大阪市立大学」が発足し、さらに、1955年には大阪市立医科大学を編入して医学部(医系)を設置しました。

現在、大阪府立大学と共に2022年4月開学予定の新大学に向けて準備を行っているところです。理系・文系・医系の幅広い学問体系を擁する総合大学として、大阪から世界に羽ばたく人材を育成します。



1889年

現在も続くボートレース開催

短艇競技を行う学校がなかった時代に「水上運動会」としてスタート。市民に愛される大阪の名物行事となりました。

• [HTTPS://140TH.OSAKA-CU.AC.JP/HISTORY/](https://140th.osaka-cu.ac.jp/history/)

(と、地方大学なりに、頑張ってる様です)



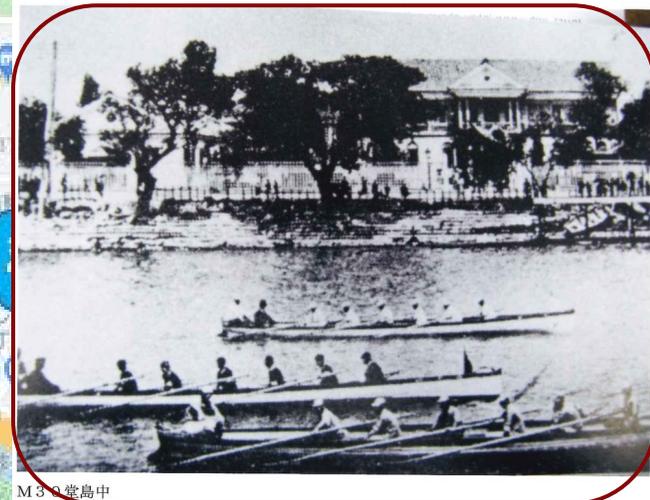
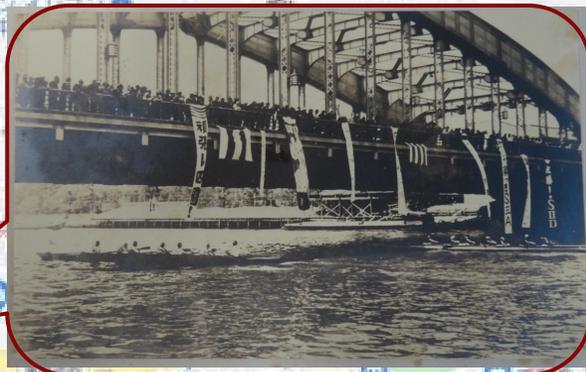
泉布観

国道を挟んで大阪造幣局と隣接する泉布観は、明治4年（1871）、創業当初の造幣寮（現在の造幣局）の応接所として建てられた。設計は明治初期の日本の洋風建築に大きな業績を残した英国人技師・ウォートルス。白い漆喰塗りの壁が美しい2階建ての建物は総煉瓦造りで、周囲にベランダを巡らせた「ヴェランダ・コロニアル」様式。室内は天井が高く、暖炉やシャンデリアなど優雅な装飾が施されている。「泉布」は貨幣、「観」は館を意味し、明治天皇が自ら命名したもの。国指定重要文化財。

桜ノ宮艇庫、周辺案内！



ヨイ〜
デツカンショ



M39 堂島中



407 天保元年年会記念ボート競 (桜の宮橋下流) 昭和55年5月

その他、ボート関連トピック抜き書き

- 明治18年に改組された【府立】大阪商業学校の時代に、初めて短艇の購入と競漕会開催の記録が現れる。
- 第3部.(1) ボート部の創設 本学のボート部は明治22年にボート祭の始まりと期を同じくして「水上部」の名称で設立された事がほぼ確実である。(物的証拠、状況証拠より:本文参照を！)
- 明治21年7月(1888年) 府立大阪商業学校の公式文書に「生徒体育奨励のためバッテリー(長4間幅4尺8寸 深1尺9寸)3艘を金161円40銭にて大和田幸次郎より購求せり」との文言が記載されている。(現在の価格にすると、1円=約2万円相当とあります)
- 明治22年6月22日前年からの準備を経て、いよいよ記念すべき第1回水上運動会が堂島川渡辺橋―大江橋間において開催された。(同年9月30日、大阪市の発足に伴って本校は大阪府から大阪市に移管され、市立大阪商業学校と改称された。)
- 『競漕が始まったのは主として太田正躬氏その他の東京高商出の先生たちの主唱によりて隅田川のそれに倣ったものである。最初は水上警察の他には相手がいなかった』、しかしその後明治42年頃の最盛期には 住友倶楽部 大阪新報 八幡倶楽部 商工アイアン倶楽部 六稜倶楽部 商工春雨倶楽部 水上警察署 大阪税関 日本海上保険会社 帝国商業銀行 大阪瓦斯 八木商店 長瀬染料店 日本綿花会社 北野中学2艇 天王寺中学 堺中学 滋賀商業学校2艇 御影師範(合計 会社等36 学校15)の記録がある。
- 「天覧競漕会」(大阪商科大学60年史より) 昭和4年6月4日 天皇御召艦大阪湾入港に際し天覧端艇競漕
- ◇明治41年7月27日より8月25日 水上部は日本地中海漕周を成し遂げたり。順路は次の通り
大阪 → 高砂 → 下津井 → 尾道 → 新居浜 → 川之江 → 仁尾 → 粟島 → 多度津 → 高松 → 小豆島 → 牛窓 → 新浜 → 明石 → 御影 → 安治川 → 帰着
- 明治の後期、学内には五つのボート倶楽部があった。明治43年には、ボートレースが原因で学内流血事件が起きている。
- 大正14年に初めてシェルフォア艇のレース(明治神宮大会)に出漕。その後、昭和5年固定席艇に訣別してエイト主体に転換し、新しい一歩を踏み出した。わが校の滑席シェル艇への転換は、他校と較べるとかなり遅いほうであった。
- (昭和5年発行 紅槳第1号より)「紅槳」発刊に当って(昭和5年度幹事長 渡邊奇雄)
- ボート部が悲願の自艇を持つことができたのは昭和7年。そしてこの年、わがボート部は関西選手権優勝の栄冠を得たのである。エイト草創期のわがボート部は確かに強豪と呼ばれるに相応しい力を持っており、スタート早々に作り上げた黄金時代であった。(しかし戦前の関西選手権優勝は此の時のみの様です、戦後も数えるほど！)

森脇は、此の様な背景を一切知らず、知らされず、ボート祭にも天神祭や各種行事にも参加せず、瀬田・戸田に追いやられ、朝夕週6日(月曜休み)の練習に漬込まれ、ただ漕ぐだけの学生時代でした。此の様な事を知ったのは、ほん最近の事です。



紅 檣



『紅檣会』の主旨は、歴史有る大阪市立大学(旧大阪商科大学)漕艇部にて活躍する現役部員の有意義な活動を、新旧OB/OG全員の交流を通じ経済的・精神的・技術的に支援する事にある。

以上//

「紅橈」に題す

漕艇部長・教授 大國 壽吉

我漕艇部が年々の出来事を後々に書き残す為として「紅橈」を編する事となった。之は勿論広く世間に公にするものではなく、唯所謂部員（厳格に言へば学友会に漕艇部員なるもの存せず）と所謂部の先輩（卒業生の極めて少数）やとに頒つのみで、其の範囲は極めて狭い。因って今より十年或ひは二十年の後には誰の手許にも保存せられないやうになるやも計られぬ。

海外の漕艇界を見るにやはり最初の程は記録の保存せらるゝなく、後年に至って大骨折してゐる。（例へば Thomas Daggett Deceased by J. A. Cook G. Nickalls-1908）それで近年は各國とも些細な事でも之を印行して保存を計つてゐる。

例へば

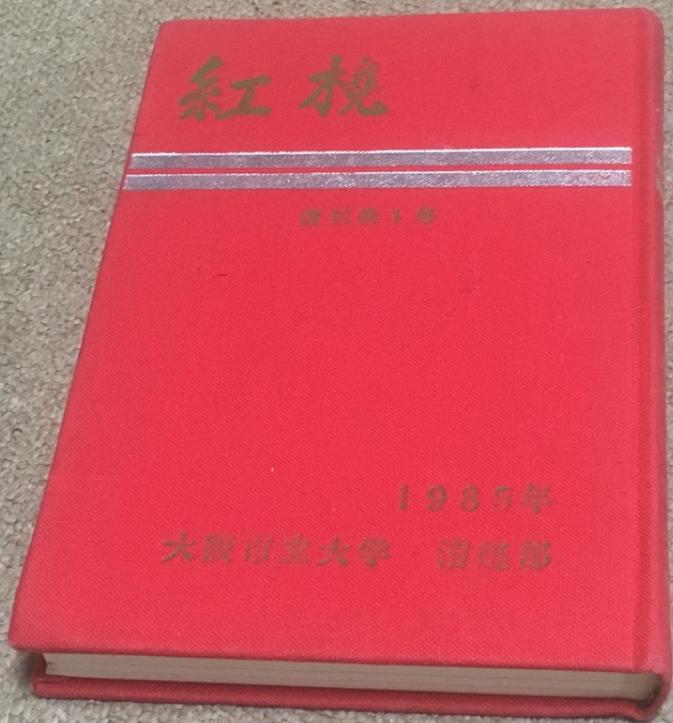
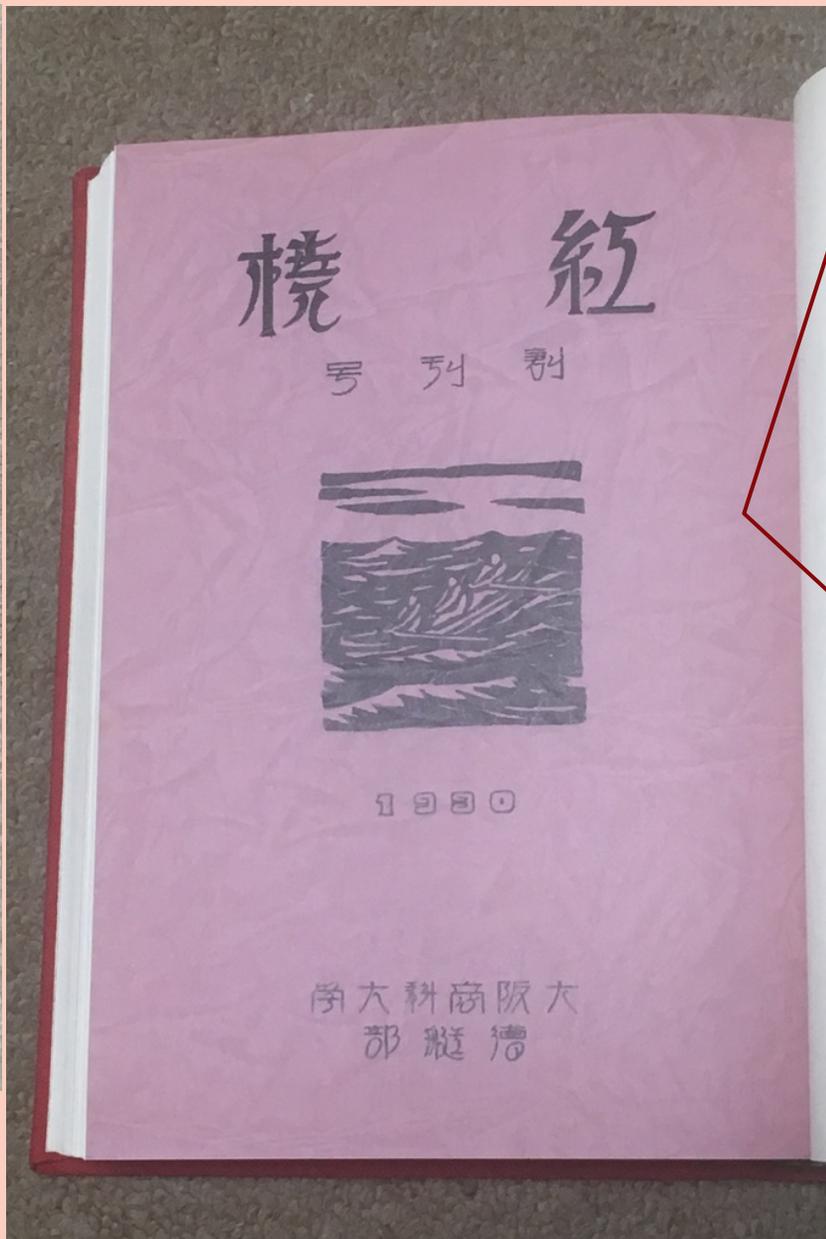
"Zehn Jahre Schülrrudern" (Wissenschaftliche Beilage zum Jahresbericht des Leibniz-Gymnasiums zu Berlin.), von Dr. J. Gericke-1904.
"Kaiser Wilhelm und das Rudern an den höheren schulen Deutschlands" von den höheren schulen Deutshlands" von Prof. Wickenhagen. Prof Kuhse-1913.
"A History of the First Trinity Boat-Club", by W. W. Rouse Ball-1908.
"Courtney and Cornell Rowing" by Prof. C. V. P. Young-1923.

我國でも仲々昔の事は分らぬ、之を公にしたもの亦誠に少ない。（武田千代三郎先生著競技運動）

京都帝大漕艇部の様な新しい歴史の處でも、先年部長田島博士の還暦記念に部史を編むに多大の苦心をした。

我漕艇部の歴史は誠に古い。古いだけそれだけ分らぬ。過去は致し方ないとして、今後は「紅橈」によって散逸の心細さがありといふものゝ、幾分か安神が出来る。

私は此の意味で此の「紅橈」の将来の継統と發達を祈つてゐる。頒布をうけた人は失はぬ様に大切に保存せられん事を望む。（五 十一 廿八）



「紅橈」復刻版

漕艇に対する先人の思入れの一端を紹介し、ボート界の底上げを図る上にも、又、各大学の貴重な資料が散逸する前にも、持ち寄れる場所があればと常々思っております。

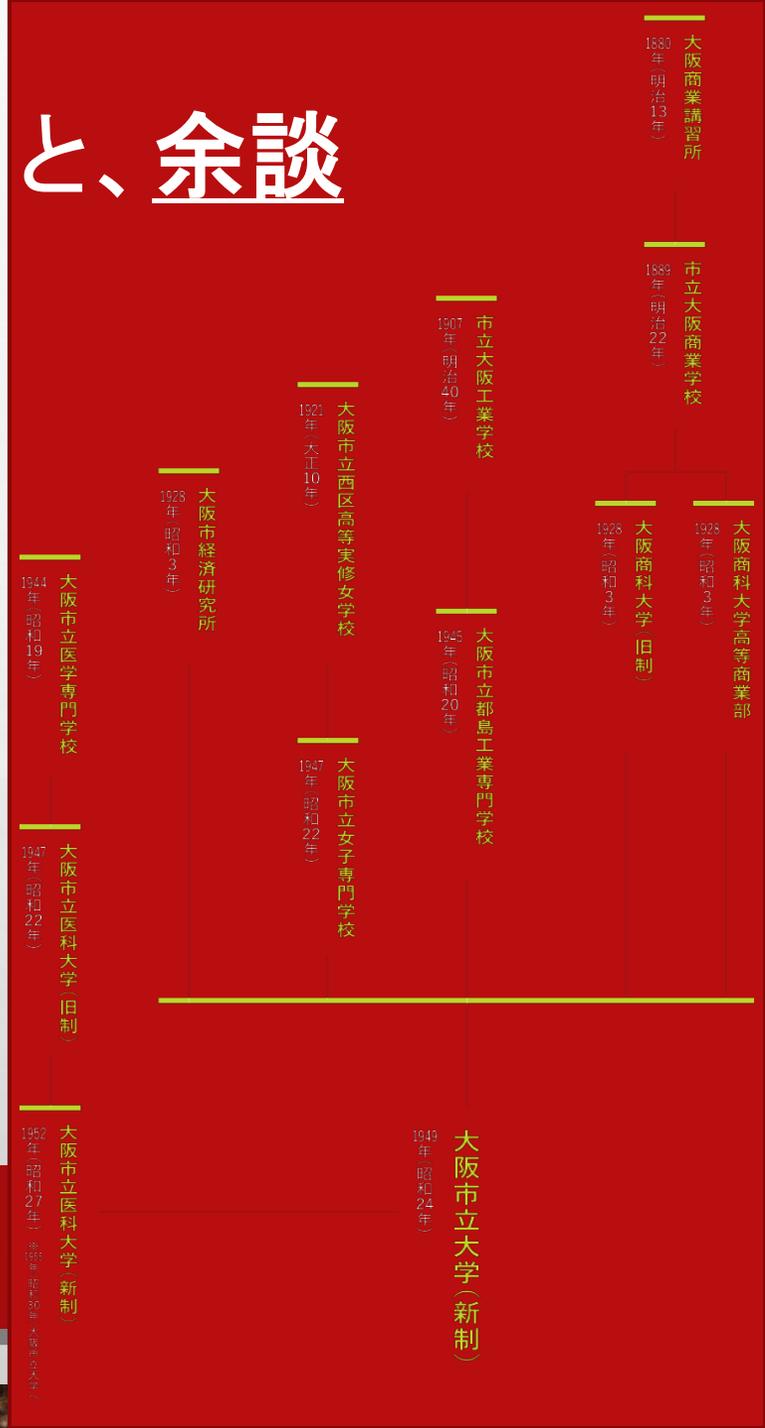
（創刊時の思いに共感する、今日この頃です！ 森脇）

大阪市立大学(市大:旧商大)に付いて、と、余談

- 1880年(明治13年)に大阪商法会議所(現大阪商工会議所)や株式取引所(現大阪証券取引所)の生みの親であり、「近代大阪経済の父」とも言われる五代友厚をはじめ、当時の大阪財界有力者十六名によって創設されました。
- 「商売は学問よりも経験」と考えていた当時の大阪市民に、五代は「欧米先進国と対等に渡り合うには、商人にも学問が必要」と説き、東京に次ぐ我が国二番目の商法学校「大阪商業講習所」を設立しました。その後、1889年(明治22年)には、市制特例による大阪市制の発足に伴い、「市立大阪商業学校」・・・「大阪市立大学」へと発展していきます。
- (余談その1)

日本一安い月謝(授業料)・月980円で、合宿飯付き、私は親孝行者でした！

今頃ですが、母校の沿革に興味を持ち、こんな立派な学校だと初めて知ったが、学生時代は漕艇だけに、身も心も焼き尽くし、抜け殻となって5年かかって卒業しました。(森脇)



さて、ユニークな卒業生、市大関係者(代表例)について！



- 山中 伸弥は、日本の医学者。京都大学IPS細胞研究所所長・教授他、学位は大阪市立大学博士。
- アマオヨシは、ニューヨークを拠点とする多才な日本人俳優、コメディアン、司会者、武道家です。
- 開高 健、小説家
- 亀石倫子、弁護士
- 高原 慶一郎は、ユニ・チャーム創業者
- 坂根正弘(小松製作所会長)
- 鳥井信治郎 サントリー創業者
- 野村徳七 両替商の野村徳七の長男で野村財閥を築いた二代目
- 金田龍之介(俳優)
-
- 森 恒夫、田宮高麿

(余談その2:特記該当者)

- ✓ 森 恒夫(新左翼活動家、12名を粛正したテロリスト。連合赤軍中央委員会委員長)、田宮高麿(日航よど号ハイジャック・リーダー)
- ✓ NHKの朝ドラ「**ディーン・フジオカ**のハマリ役、五代様」

- ✓ 山中伸弥さん・・・は市大卒「ほんまかよ～?」、『ノーベル賞もろた人やろ～、ノーベル賞いうたら京大とちゃうんか～!』大阪市立大学にも知らない人が多いが・・・。

何と立派な方々が卒業生に名を連ねていたんですね～、知らなかった～!

しかし、「大阪市大卒業生を雇うと、危ないで〜！」

強烈なイメージが襲った、1960～70年（昭和35年～45年）代後の流言でした！

- 森 恒夫（新左翼活動家、テロリスト。連合赤軍中央委員会委員長） S19年生まれ
- 田宮高麿（日航よど号ハイジャック）S18年生まれ、他（因みに森脇はS20年生まれ）
- 「商学部」“赤” → マルクス・レーニン → “赤” → 共産主義“赤” → 労働組合“赤” ……

大阪市大 → “赤” 以後、他校に比して、「市大」は日陰の身となり、表立って出難い状況で…

（余談その3:）

- ✓ この人達のお陰で、卒業しても、実社会で「学校はどちらですか？」に「(大阪)市大卒」ですと、小声で…、後醍醐（南朝）・楠木正成、真田幸村、…、と歴史的に気張っても権力には不運・無縁、かろうじて、弘法大師のお膝元、紀伊国屋文左衛門、始め…、文系って「大志を抱かず細々とが無難」と自覚せざるを得ない状況！

赤軍派の「機動隊の囲い突破に行こう！」と言われた時も『桜宮に行かないと叱られる！』と純情一途、
「漕艇」だけの学生生活後、人並みの夢を持って…、やっと卒業したのに…（森脇）

(余談その4:) 知名度向上のキッカケに！

五代さま

大阪市立大学同窓会による「五代友厚銅像建立完成記念行事」が平成28年3月19日に開催され、多くの関係者が集まりました。午前中までは時折小雨の降る曇天でしたが、午後からは晴れ間も見え、除幕式も予定どおり外で行うことができました。

ディーン・フジオカ（「連続テレビ小説 あさが来た」より）

1961年に放送開始して以来"朝ドラ"の愛称で親しまれ、これまで数々の名作を世に送り出してきた連続テレビ小説(NHK総合)。中でも、2015年度下半期に放送された「あさが来た」は、21世紀の朝ドラ最高平均視聴率となる23.5%(2019年12月現在)を記録。朝ドラ100作記念「あなたの〈イチオシ朝ドラ〉投票」でも第1位を獲得(2019年3月)するなど、根強い人気を誇る作品だ。

・「連続テレビ小説 あさが来た」より

女性事業家の先駆けである広岡浅子をモデルに、事業家として奮闘する今井(白岡)あさの生涯を描いた「あさが来た」。朝ドラで初めて江戸時代から始まった作中には、大隈重信や福沢諭吉、土方歳三など歴史を動かした偉人が多数登場。



“五代ロス”、7日の発表から「五代が死ぬ日」が明らかになったのは、今月7日にNHK大阪放送局で行われた新春局長会見後の囲み取材。

佐野元彦・制作統括が「『あさが来た』も折り返しに入り、登場人物も世代交代します。22日は五代さんが死にます」と明かした。かくて、“五代様死す”の情報は解禁となった。

その瞬間からネット上は女性ファンらが発する悲鳴の声で充満。冒頭で紹介した分以外のツイートの投稿を拾ってみると、

「五代様、逝かないで～～」
「五代様死さないでえええ！！！」
「五代さまの居なくなったあと気持ちのコントロール出来る自信ない」
「史実だから、覚悟はしてたけど、辛い」

…といった具合

お願いいたします、五代さま、山中さま！！

大阪市立大学とついでに漕艇部も有名に！

(余談その5:) しかし、大阪市大は未だ裏方状態、自分でやるしかないっか～！



市大に関係なく！朝ドラで初めて五代を知った人も・・・



市大ではマウスの飼育担当、でiPSとの関係は・・・不明！
今、コロナ関連でも、市大の先生と活躍してるらしい・・・そろそろ市大を表舞台に！

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7738a5c5c308d044cce23e4b6406e9ae1a3ce988>

以上、皆さま「大阪市立大学(近々名称変わるかも)」を何卒、宜しくご記憶頂けます様お願い致します！